

「鎌倉市図書館振興基金」第6号提案

1 提案資料

- (1) 事業名：『晚翠吟社詩稿』デジタル化事業
- (2) 資料：『晚翠吟社詩稿』（題箋：『晚翠吟社詩巻』）写本 11 冊
- (3) 作者：晚翠吟社社員
- (4) サイズ：23.3×16.0cm
- (5) 丁数：巻1…120 コマ（明治11年11月～12年12月分）
巻2…118 コマ（明治13年1月～13年12月分）
巻3…109 コマ（明治14年1月～14年6月分）
巻4…152 コマ（明治14年7月～14年12月分）
巻5…131 コマ（明治15年1月～15年6月分）
巻6…94 コマ（明治15年7月～15年12月分）
巻7…126 コマ（明治16年1月～16年6月分）
巻8…91 コマ（明治16年7月～16年11月分）
巻9…121 コマ（明治17年1月～17年6月分）
巻10…62 コマ（明治17年5月、10月、11月、18年4月別集）
巻11…149 コマ（明治17年7月～17年12月分）
合計 1,273 コマ（各冊とも表紙裏表紙分2コマ含む）
- (6) 年代：明治11年11月～18年4月（1878年～1885）
- (7) 内容：晚翠吟社の月例会の記録
- (8) 価格：374,000 円（税込み）
内訳…（本体価格）340,000 円（消費税）34,000 円
- (9) 旧蔵者…田辺新之助（松坡）
- (10) 事業時期…令和2年（2020年）度

2 提案理由

- (1) 旧蔵者の田辺松坡（新之助）は、明治～昭和にかけて教育家・漢詩人として活躍しました。教育家としては開成中学校長、第二開成（逗子開成）中学校長、鎌倉女学校（鎌倉女学院）校長を歴任し、開成中学教諭としての彼を教え子の齋藤茂吉が随筆として描いた作品もあります。漢詩人としては『明治二百五十家絶句』『現代日本文学全集 37 現代日本詩集・現代日本漢詩集』『明治文学全集 62 明治漢詩文集』等に作品が収録されています。明治40年頃来鎌、昭和19年亡くなるまで鎌倉在住。没後、昭和22年5月に松坡の蔵書が図書館に寄贈され、「松坡文庫」として所蔵しています。2018年7月から「松坡文庫研究会」が発足活動している中、出版数の多い版本でなく松坡の関係する写本をデジタル公開できるようにすることは有意義なことだと考えます。
- (2) 本書は、明治漢詩界で著名な漢詩人向山黄村が主となって設立した「晚翠吟社」の月例会の記録です。毎月1回五日に上野の八百善で例会がもたれ、毎月課題をもとに漢詩を読み、後日大沼枕山が批評したものを松坡が朱墨または墨で書き入れたものを綴じたものです。（『吉田竹里吉田太古遺文集』1001656279 田辺松坡の雑文「吉田竹里翁逸事」）
本資料をデジタル化することにより①貴重な資料を保存すると同時に、②何時でも、何処からでも、誰でも閲覧できる環境を作ることができることです。
- (3) 本書は、『国書総目録』（岩波書店 1989）に掲載されておらず、写本であることから現存唯一の資料である可能性が高いと思われます。前述の雑文の「晚翠吟社詩巻は岡崎春石君に由りて保存せられ、首巻より十一巻迄は目下余が宅に在り」とも合致しているため、明治期の有力な漢詩会であった晚翠吟社の貴重な記録をデジタル化し公開することは、近代日本漢詩界を研究する上で有意義なことだと考えます。